

2015 年度「ネオニコチノイド系農薬に関する企画」 公募助成決定のお知らせ

一般社団法人アクト・ビヨンド・トラストが公募した「ネオニコチノイド系農薬に関する企画」について、計 5 件の助成を決定しました。選考委員についても併せてご紹介します。

2015 年度「ネオニコチノイド系農薬に関する企画」 助成公募選考委員（あいうえお順）

- 後藤和明（らでいっしゅぼーや農産部長、Radix の会常務理事）
- 田中 優（未来バンク事業組合理事長）
- 古瀬繁範（地球と未来の環境基金理事長）
- マエキタミヤコ（サステナ代表）
- 宮田秀明（摂南大学名誉教授／環境科学、食品衛生学、公衆衛生学）
- 安田節子（食政策センター ビジョン 21 主宰人）
- 山田敏郎（金沢大学名誉教授／化学工学、自然システム学、蜂群崩壊症候群研究）
- 星川 淳（アクト・ビヨンド・トラスト代表理事）

「ミツバチからのメッセージ」

特定非営利活動法人 F.O.P（申請者：杉浦歩実）

助成金額：500,000 円 【広報・社会訴求部門】

2013,14 年度に製作してきたダンスミュージカル「だれもしらないみつばちのものがたり」を映像化し、上映会を行う。今までミツバチのことを知らなかった、子供から大人までの環境問題に関心の無かった人達が、製作プロジェクトを通してでミツバチの暮らしや生態、そして今ミツバチに起きている問題を知り、ソーシャルネットワークや家族の対話などで発信をする側となった。この新たな発信源をキッカケに更に広める。2015 年度は映像化、完成試写会を行い、2016 年から全国各地で上映を目指す。

「浸透性農薬の生態系影響についての日本国内の生態学コミュニティへの普及啓発活動」

公益財団法人 日本自然保護協会（申請者：高川晋一）

助成金額：500,000 円 【広報・社会訴求部門】

浸透性農薬が生態系や人体に重大な悪影響を及ぼすことが近年科学的に示されつつあるものの、日本国内においては未だに研究者コミュニティ内ですらその認知が乏しい。本企画は主に生態学研究者や各地の自然保護団体をターゲットとして、国内外の研究者を演者としたシンポジウムや集会を開催し、浸透性農薬の生態系影響に関する普及啓発を行い、今後の社会課題解決にむけた主体の発掘と科学的根拠の共有を行う。

「集落営農によりつくるネオニコフリーエリアと田んぼトレーサビリティへの取り組み」

NPO 法人河北潟湖沼研究所（申請者：高橋 久）

助成金額：600,000 円 【調査・研究／広報・社会訴求／市場“緑化”部門】

昨年取り組んだ生きもの元気米の取り組みは、複数の農家の賛同を得てネオニコ空散をしないエリアをつくる

ことができた。この取り組みを推進する上での次の課題としては、ある程度まとまったネオニコフリーエリアをつくることである。集落単位での取り組みとすることができれば、ある程度の連続するエリアを確保できる。また、参加する農家がもともと所有している小規模の籾すり・乾燥装置を利用することで、田んぼごとのトレーサビリティにも取り組みやすい。

「農場から食卓までを通じたネオニコフリーの実践に向けた意識調査と啓発」

公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(申請者:廣重朋子)

助成金額：600,000円 【広報・社会訴求／市場“緑化”部門】

ネオニコチノイド系農薬の削減には、生産者・流通業者・消費者それぞれの意識を向上させることが重要と考える。そのために、ネットワークを活用してそれぞれに対してアンケート四季意識調査を行ない、認知度や普及の可能性を調査・分析し、その結果をシンポジウム等にてフィードバックする。シンポジウムではネオニコに対して取り組みを行なっている生産者・流通業者を講師に招いてお話を伺い、参加者各自が何ができるのかを考える。

「つなげたい！ひろめたい！ミツバチまもり隊！」

小織健央

助成金額：250,000円 【広報・社会訴求部門】

①活動の輪をつなげたい！：映画「ミツバチからのメッセージ」の上映会。自然や自給自足に関心のある層を中心に、農業問題、農業の現状と課題について、少人数での映画上映とお話会を開催し、理解を深める。②ミツバチまもり隊をひろめたい！：「みつばち音楽祭」の開催。手作りの音楽祭として、農業に関心のない人や子どもも参加しやすい環境で音楽やマルシェ、周辺散策を取り入れながらミツバチ問題への関心を呼びかける。③ミツバチまもり隊を育てたい！：昨年結成したミツバチまもり隊のパンフレットを作成・配布する。上記①②の活動で隊員を募集し、ミツバチまもり隊の環境保護団体としての組織化を目指す。

[abt サイトのトップに戻る](#)